

各企業等の社会員貢献

交通事故防止の一助に

地蔵尊周辺で除排雪

宮坂建設工業が16回目の取組

市道の交差点にある「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で除排雪作業を実施した。役職員ら15人が早朝から作業を展開。地域住民の交通安全に対する意識を高めようと、熱心に作業を進めた。

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は13日、道道帯広空港線と

ある「世の為人の為につくせ」の精神のもと、各地で地域貢献活動を展開。除排雪作業もその一つで、帯広広尾道の建設工事に携わったことをきっかけに、2003年度から毎年行っている。

長年にわたる活動は、今年として16年目を迎えた。今シーズン初めてとなるこの日は、タイヤショベル1台とタンポトラック2台を動員。重機の進入が困難な箇所については、手作業で除雪を実施した。

十勝管内では、今月に入ってからまとまった雪が降ったが、作業終了後は見違えるほどきれいな状態に。懸命な作業によって、道路上からも交通安全地蔵尊が確認できるようになった。

棟方聡執行役員土木部長



役職員ら15人が手際よく作業を進めた

奉仕

◆宮坂建設工業(帯広)が除排雪作業



13日、帯広市大正町の道道帯広空港線と市道交差点の「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で行った写真。

同社が帯広広尾自動車道の建設工事を担当したことから、交通事故撲滅を願い、2003年度から実施している。

今冬の作業は初めて。社員15人が参加し、スコップや重機などを用いて除排雪作業を行った。棟方聡土木部長は「運転する人が地蔵尊を見て、安全意識を高めてもらえれば」と話していた。

## 帯広市内で 除排雪奉仕

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は13日、帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で今季初となる除排雪の地域貢献活動をしたり写真。



と、かち帯広空港に近い道道帯広空港線沿いの交差点にある地蔵尊周辺は除雪作業で雪山ができやすい。出合い頭の自動車衝突事故の危険があるため、同社では2004年から毎年降雪後に除排雪作業を手掛けている。例年は12月からシーズン中

に3、4回実施しているが、今季の十勝地方は積雪が少ないためこれまでで最も遅い出勤となった。社員15人が参加。タイヤショベル1台とダンプ2台を使って雪を処理した。棟方聡執行役員土木部長は「路面状況が悪い中で交差点の見通しが悪いと事故につながる。これからも続けていきたい」と話していた。